

資料番号	9
------	---

令和8年1月19日  
課名 農林水産局畜産課  
担当者 課長 小川  
内線 3603

## 鳥インフルエンザに関する大臣指定地域について

### 1 要旨・目的

令和7年12月に鳥インフルエンザに関する大臣指定地域が告示され、令和8年1月1日から施行されたので報告する。

### 2 現状・背景

国は、令和6年度シーズンの愛知県や千葉県での連続発生の疫学調査を踏まえ、新たに、必要な対策をまとめた「鳥インフルエンザ対策パッケージ」を定めた。

その中で、鳥インフルエンザの連続発生防止を迅速・確実に実施するため、再発生リスクが高い地域を予め「大臣指定地域」とし、地域一体となった発生予防の取組や発生した場合のまん延防止の取組を強化・推進することとした。

### 3 概要

#### (1) 大臣指定地域

全国44地域（広島県1地域）

#### (2) 本県の対象地域

令和4年度シーズンの発生農場6戸を中心とした半径10km以内に位置する1,000羽以上飼養の鶏飼養農場が所在する地域

#### (3) 本県の対象地域に含まれる市町等

	市町	字	農場数	備考
1	三原市	久井町羽倉	1	
2	世羅町	黒川字後口山、峰居山、吉原字平岩山、下津田、津口、別迫、寺町、京丸、賀茂、田打	11	
3	三次市	三和町上板木字上武流池及び有原字南山	4	
4	安芸高田市	向原町坂	4	
5	東広島市	豊栄町吉原及び清武	2	

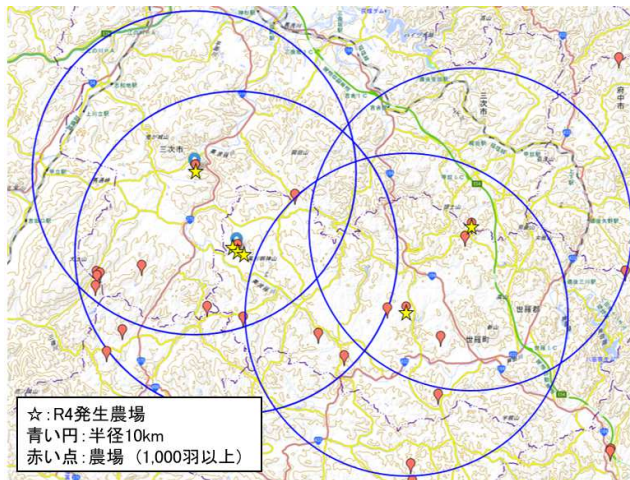
#### (4) 岡山県の対象地域に含まれる市町等

岡山県の大臣指定地域に本県の一部地域が含まれる

	市町	字	農場数	備考
1	庄原市	東城町久代	0	岡山県の指定地域に含まれる
2	神石高原町	小野	0	

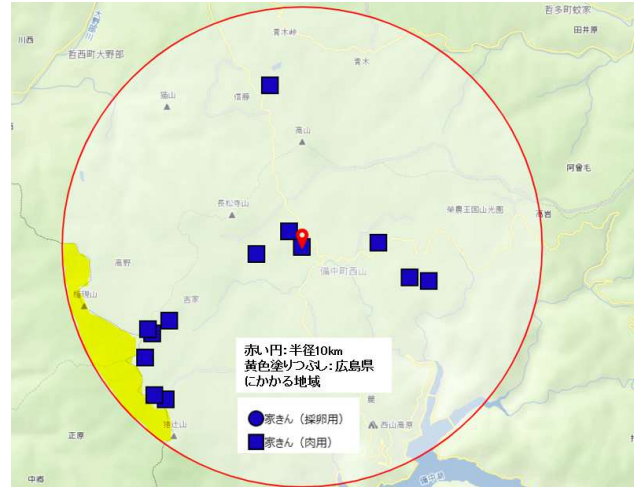
#### 【本県の対象地域】

- ・農場が所在する地域のみ  
(農場(☆、赤い点)が所在する地域)



#### 【岡山県の対象地域】

- ・半径10kmに含まれる全域  
(黄色塗りつぶし部分が本県にかかる地域)



#### (5) 県の役割

次の内容について、農場及び地域一体となった取組を助言・指導する。

【平常時】	<ol style="list-style-type: none"> <li>飼養衛生管理水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥の生息状況の把握、野鳥誘引防止対策の検討</li> </ul> </li> <li>発生に備えた準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒薬の備蓄、入気口対策(フィルター、細霧装置等)の準備</li> </ul> </li> </ol>
【発生時】	<ol style="list-style-type: none"> <li>まん延防止の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒薬による農場内消毒</li> <li>・フィルター、細霧装置、不織布の設置等による粉塵対策</li> </ul> </li> </ol>

#### (6) 効果

- ア 鳥インフルエンザ対策に対する地域住民の理解向上
- イ 指定地域内での野鳥対策(ため池の水抜き等)の推進
- ウ 大臣指定地域以外の鶏飼養農場周辺地域における野鳥対策の波及
- エ 鳥インフルエンザが発生した際の、地域内農場が一体となった迅速かつ効果的なウイルスのまん延防止対策の推進

### 4 県の対応

#### (1) 大臣指定地域の考え方の周知

- ア 関係団体及び全鶏飼養農場向け説明会(令和7年9月、10月)
- イ 対象予定鶏飼養農場向け説明会(令和7年10月、12月)

#### (2) 地域内鶏飼養農場への助言

### 5 その他

大臣指定地域は、鳥インフルエンザの発生状況に応じ、毎年見直される予定

【参考】

今年度（令和7年度）シーズンの国内の発生状況

●鶏

過去2番目に早い10月22日に国内1例目が確認され、令和8年1月8日までに9道府県14事例発生している。（発生規模合計：約405.5万羽）

【発生状況】

事例	都道府県	発生日	発生規模 (万羽)	殺処分 完了	防疫措置 完了	県の対応
1	北海道	10月22日	45.9	10月29日	11月2日	
2	北海道	11月2日	23.6	11月7日	11月10日	
3	新潟県	11月4日	63	11月15日	11月18日	職員派遣※ <sup>1</sup>
4	新潟県	11月9日	28	11月15日	11月18日	
5	宮崎県	11月22日	4.8	11月22日	11月23日	
6	鳥取県	12月2日	7.5	12月4日	12月5日	
7	兵庫県	12月16日	24	12月20日	12月21日	職員派遣※ <sup>1</sup>
8	岡山県	12月20日	43	12月27日	12月30日	資材支援※ <sup>2</sup>
9	京都府	12月24日	28	12月30日	12月30日	職員派遣※ <sup>1</sup>
10	茨城県	12月25日	97	12月30日	1月5日	職員派遣※ <sup>1</sup>
11	北海道	12月29日	0.6	12月29日	12月30日	
12	埼玉県	12月30日	24	1月4日	1月5日	
13	宮崎県	1月2日	0.6	1月2日	1月2日	
14	兵庫県	1月8日	15.5			職員派遣※ <sup>1</sup>

※1 発生県からの農林水産省を通じた派遣要請により対応

※2 中国地方5県家畜防疫対策の広域連携に関する協定（平成27年）に基づき対応

●野鳥

1 全国では、令和8年1月5日までに1道10県64事例で陽性が確認

北海道：23事例（オオタカ、ハシブトガラス、タンチョウ、オオハクチョウ、シマフクロウ、オジロワシ、ハシボソガラス）

山形県：1事例（ノスリ）

新潟県：2事例（コハクチョウ）

福島県：1事例（オオハクチョウ）

群馬県：1事例（オオタカ）

高知県：1事例（オナガガモ）

徳島県：1事例（オシドリ）

福岡県：1事例（キンクロハジロ）

大分県：1事例（カイツブリ）

宮崎県：8事例（ヒドリガモ、ハヤブサ）

鹿児島県：24事例（ナベヅル・ヒドリガモ、環境資料（水）、マナヅル）

2 広島県では、現在まで死亡野鳥の報告なし